



(株)SDSホールディングス2022年3月期決算資料
東証スタンダード コード1711

2022年5月

2022年3月期連結業績について

SDSホールディングス 2022年3月期実績

財務体質の強化を実現、大規模M&Aの実行へ
既存事業は増収、固定費削減も、原料価格高騰により、利益率は低下

2022年3月期の省電舎グループは、7月以降、経営体制を刷新、財務体質の改善が進み、**自己資本の充実、主要子会社の債務超過解消**という面で大きな成果を上げました。

また、売上面では、注力してきた**自家消費型太陽光発電案件の受注**や、コロナ禍で中断していた事業の再開などにより、**大幅増収**を達成すると共に、本社移転・大阪事業所撤退・社内受注管理システムの見直しなどの**経営改革**を断行し、**販売管理費中の固定費は10%程度の削減**に成功しました。

一方で、当期においては、**原材料価格の高騰**などにより、売上総利益率が低下したこと、M&A（実行は翌期）に伴うコストの計上により、営業利益は微減となりました。

2022年3月期の主な活動

- | | | |
|-------|-----|--|
| 2021年 | 6月 | 定時株主総会で、新経営陣選出。伊藤社長就任。 |
| | 7月 | 環境衛生事業部発足。衛生関連事業（HACCP・バイオマスごみ処理機等）をスタート。 |
| | 8月 | 社名をSDSホールディングスに変更。 |
| | 9月 | 名古屋衛生細菌技術センターと業務提携、食品検査サービスを開始。 |
| | 10月 | 本社を現在の東新橋へ移転 |
| | 12月 | HACCP第一号として日光のホテルを認証。
第三者割当増資によって、新株及び新株予約権総額8億円の資金調達を決議。
愛媛銀行・四国厨房との顧客紹介契約締結。 |
| 2022年 | 3月 | 株式会社CNCとバイオマスごみ処理機のOEM契約締結。
東和銀行とHACCP事業における顧客紹介契約締結。
自家消費型太陽光発電システム完成・納品
大阪事務所を撤退。
100%連結子会社省電舎の減資を実施。純資産を▲4億66百万円から1億73百万円に。
株式会社イエローキャピタルオーケストラ社を買収。 |

2022年3月期業績概要

	2021年3月期	2022年3月期	増減	2022年3月期の状況
売上	844,454	1,034,970	22.6%	SDGs 需要の高まりなどにより、総合省エネソリューション事業・再生可能エネルギー事業で2.7億円増収
売上総利益	183,079	173,328	△5.3%	原材料価格の高騰により減少
売上総利益率	21.7%	16.7%	△5.0%	同上
販売管理費	435,558	434,023	△0.4%	固定費は4億円まで減少。 M&Aコストを3400万円計上
営業利益	-252,479	-260,694	3.3%赤字増加	売上高増加も、売上総利益の低下で、若干の減益
自己資本	35,148	595,487	16.9倍	2021年の増資により大幅増加
自己資本比率	12.7%	64.6%	51.9%	
省電舎純資産額	-393,596	173,671	債務超過の解消	2022年3月の債務免除・減資により債務超過が解消

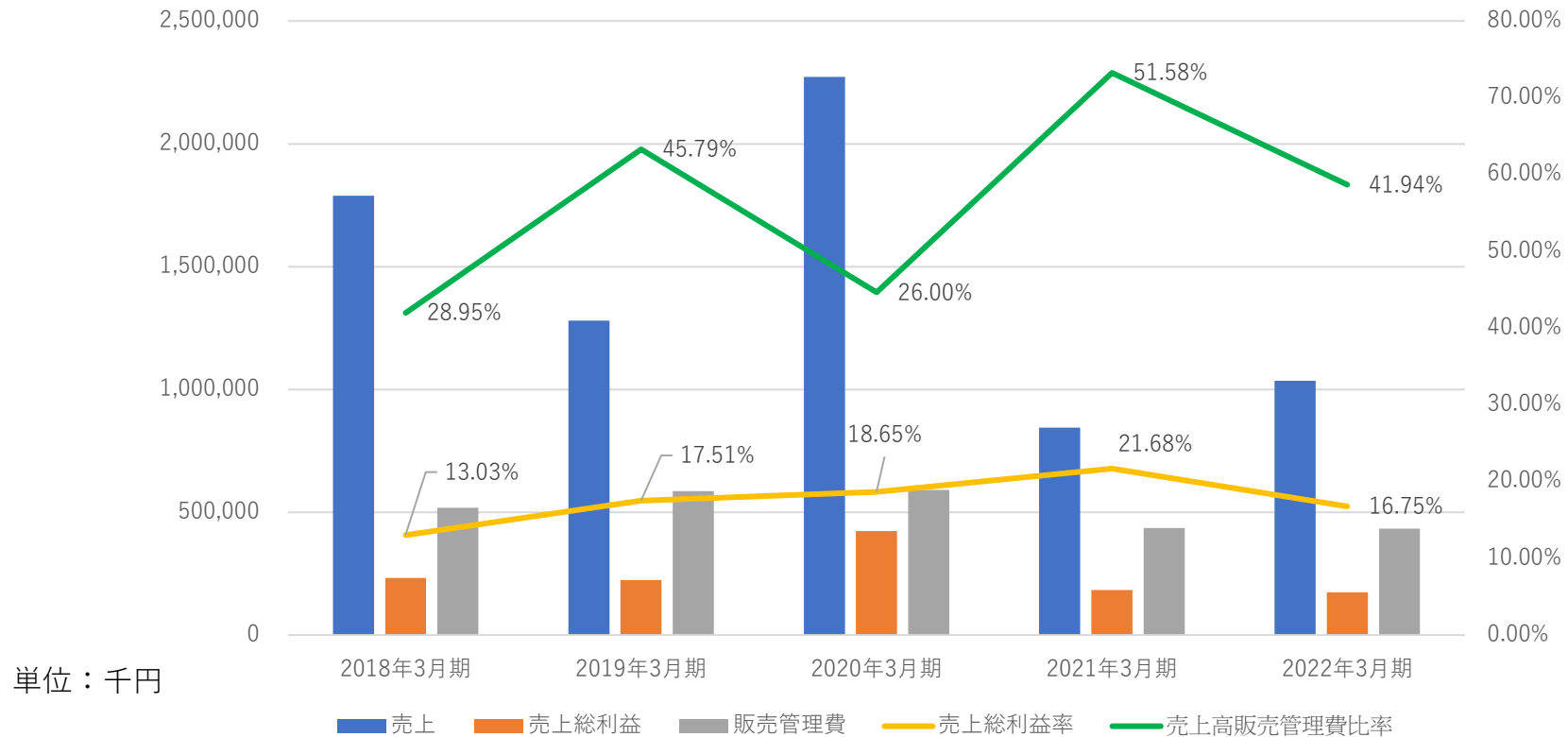
4年間業績推移

単位：千円

	2019/3	売上比	前期比	2020/3	売上比	前期比	2021/3	売上比	前期比	2022/3	売上比	前期比
売上	1,280,341		-28.4%	2,273,085		77.5%	844,454		-62.8%	1,034,970		22.6%
売上総利益	224,178	17.5%	-3.9%	423,897	18.6%	89.1%	183,079	21.7%	-56.8%	173,328	16.7%	-5.3%
販売管理費	586,294	45.8%	13.2%	591,095	26.0%	0.8%	435,558	51.6%	-26.3%	434,023	41.9%	-0.4%
減価償却	54,199	4.2%	-7.9%	24,469	1.1%	-54.9%	0		-100.0%	326		
暖簾償却	24,735	1.9%	0.0%	6,183	0.3%	-75.0%	0		-100.0%	0		
他引当金	658	0.1%	-99.7%	0		-100.0%	0			0		
営業利益	-362,116		27.1%	-167,198			-252,479			-260,694		
受取利息・配当金	45		-76.9%	1,793		3884.4%	20		-98.9%	24		20.0%
支払利息	16,470		117.9%	7,424		-54.9%	3,320		-55.3%	0		-100.0%
経常利益	-399,757			-171,102			-272,124			-298,344		
親会社当期利益	-161,314			-359,630			-348,374			-333,788		
純資産	495,449		89.3%	19,272		-96.1%	39,184		103.3%	596,609		1422.6%
平均	247,725		-21.0%	257,361		3.9%	29,228		-88.6%	317,897		987.6%
新株予約権	0		-100.0%	0			4,036			1,122		-72.2%
非支配持分	116,167		-36.6%	0			0			0		
自己資本	379,282	自己資本比率	383.2%	19,272	自己資本比率	-94.9%	35,148	自己資本比率	82.4%	595,487	自己資本比率	1594.2%
平均	189,641	19.0%	-40.9%	199,277	2.6%	5.1%	27,210	12.7%	-86.3%	315,318	64.6%	1058.8%
総資産	1,995,055		-7.6%	731,377		-63.3%	277,349		-62.1%	921,661		232.3%
平均	997,528		-1.3%	1,363,216		36.7%	504,363		-63.0%	599,505		18.9%
有利子負債	334,392	DEレシオ	-37.3%	200,000	DEレシオ	-40.2%	0	DEレシオ	-100.0%	0	DEレシオ	
平均	167,196	0.88	-27.9%	267,196	10.4	59.8%	100,000	0	-62.6%	0	0	

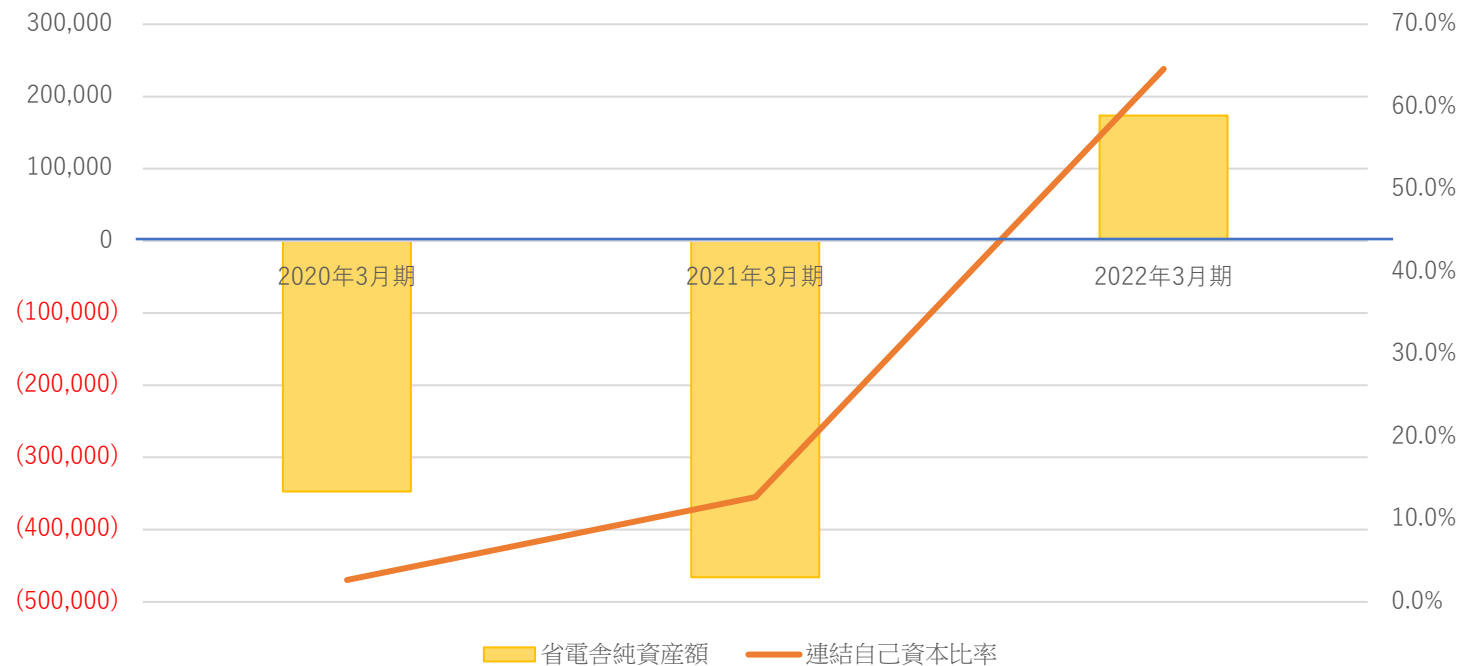
2022年3月期は22.6%増収。売上総利益率は低下・子会社買収コストが発生

2022年3月期は、新型コロナの影響が最悪期を脱したこと、自家消費型再生可能エネルギー事業の受注などにより、増収を達成し、売上高は底を脱した。ただし、原材料価格の上昇により、売上総利益率は低下している。コスト面では、大阪事務所の撤収、本社移転などにより、販売管理費中の固定費は、対前期比10%程度の削減を実現。当期は、イエローキャピタルオーケストラ社の買収費用が販売管理費に計上されたが、それでも販管費の対前期比はマイナスとなった。



2022年3月期は、自己資本比率が大幅改善 主要子会社の純資産もプラスとなり、業容拡大の基礎が固まった

2022年3月期は、第三者割当増資により、自己資本比率は12.7%から64.6%へ大幅改善。
この自己資本増加は、4月に実施した大型M&Aを可能としましたが、まだ新株予約権は約2億円分が未行使であり、事業向け資金として予定。
また、当期末の資本政策により、主要子会社の省電舎の純資産額がプラスに浮上。取引先向けの信用力向上で業績向上へ



単位：千円

2022年3月期～2023年3月期SDSグループの事業構成

3つの脅威へのソリューションを社会へ提供する

戦略区分	事業	2022年3月期売上高 (単位：千円)	対象先・事業内容
サステナビリティ (地球温暖化対策)	地球温暖化への対策事業	577,762	脱炭素・CO2削減を目指す施設を重点対象先とする
	総合省エネソリューション	300,995	CO2削減、省エネルギーに関する、施設全体又は複数の施設に対する総合的ソリューションの提供
	その他省エネソリューション	194,329	個別の省エネ商材の販売・工事
	再生可能エネルギー	82,437	再生可能エネルギーを用いた発電設備等の設置・保守等
デベロップメント (災害対策・施設強化)	災害・老朽化等への対策事業	443,079	医療介護施設・商業施設・その他施設・住宅等を重点対象先とする
	施設ソリューション	443,079	環境・災害対策を考慮した施設工事・補強工事等
	リノベーション	2023年3月期より	リノベーション住宅の販売
S&H (安全衛生対応)	衛生管理等に関する事業	14,117	食品関連施設等を重点対象先とする
	バイオマスごみ処理機 HACCP認証対応	14,117	バイオマスごみ処理機の販売・設置を行う。 HACCP認証取得コンサルティングを実施。

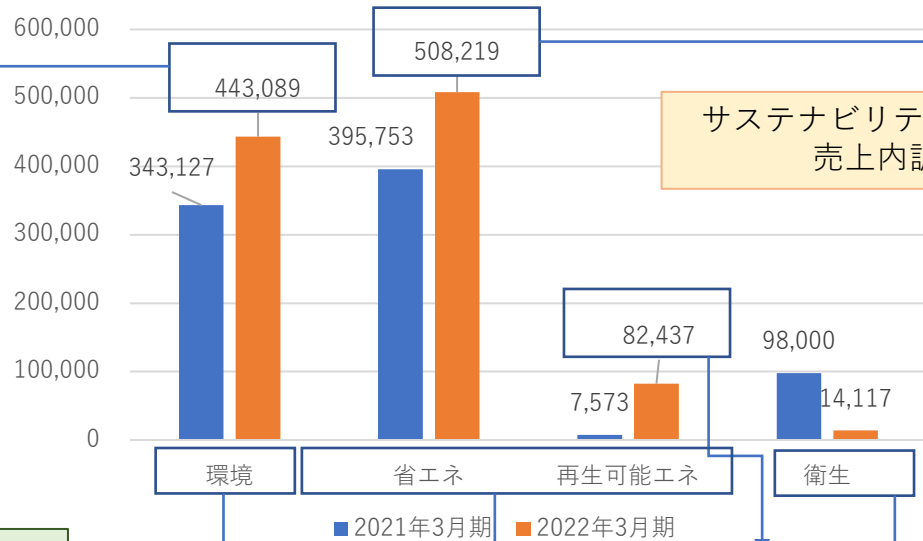
事業別売上対前期比

3つの脅威へのソリューションを社会へ提供する

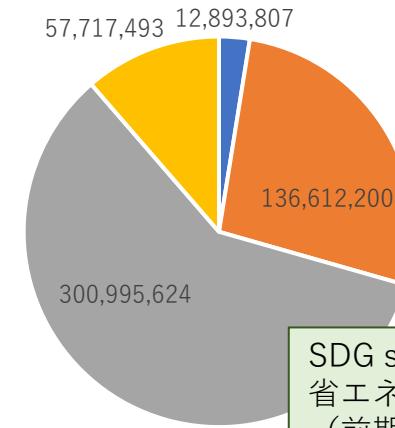
衛生関連事業以外は、各事業とも大幅増収を達成。再生可能エネルギーでは、注力してきた自家消費型太陽光発電案件を受注。SDGs 需要の高まりにより、総合省エネ事業などが伸長しました。環境ソリューション事業では、コロナ禍によって中断していた事業が一部再開。食品衛生法改正によるHACCP対応への需要対応の為、HACCP認証コンサルティング・バイオマスごみ処理機のライセンス契約を締結

2021年3月期～2022年3月期 分野別売上

単位：千円



単位：円



SDGs 需要の高まり等により、総合省エネソリューション受注が増加 (前期98百万円から3億円へ)

■ バイオマス燃料販売手数料 ■ 照明 ■ 総合省エネ ■ 物販

新型コロナウイルスによる影響で中断していた受注活動が再開

開発事業 (旧環境ソリューション)

自家消費型太陽光発電システムの受注に成功

S&H (衛生関連事業)

サステナビリティ事業
政府主導の2050年カーボンニュートラル実現に向けての需要が急速に増加

当社が得意とする「総合省エネソリューション」は、クライアントの施設をトータルにエネルギー診断し、複数の設備での省エネ・CO2削減施策を同時に実施するサービスです

2023年3月期の体制及び業績予想について

SDSホールディングス 2023年3月期 新規連結会社・新規商材がフル寄与し、営業黒字実現を目指す

新規連結企業の寄与・新規商材の販売

2023年3月期の当社業績見通しは、**新規連結子会社イエローキャピタルオーケストラ（YCO社）の通期寄与、バイオマスごみ処理機・空調効率改善設備等の新規商材の販売**により、業容が大きく拡大することが予想されます。

前期施策による業容拡大・パートナー増加

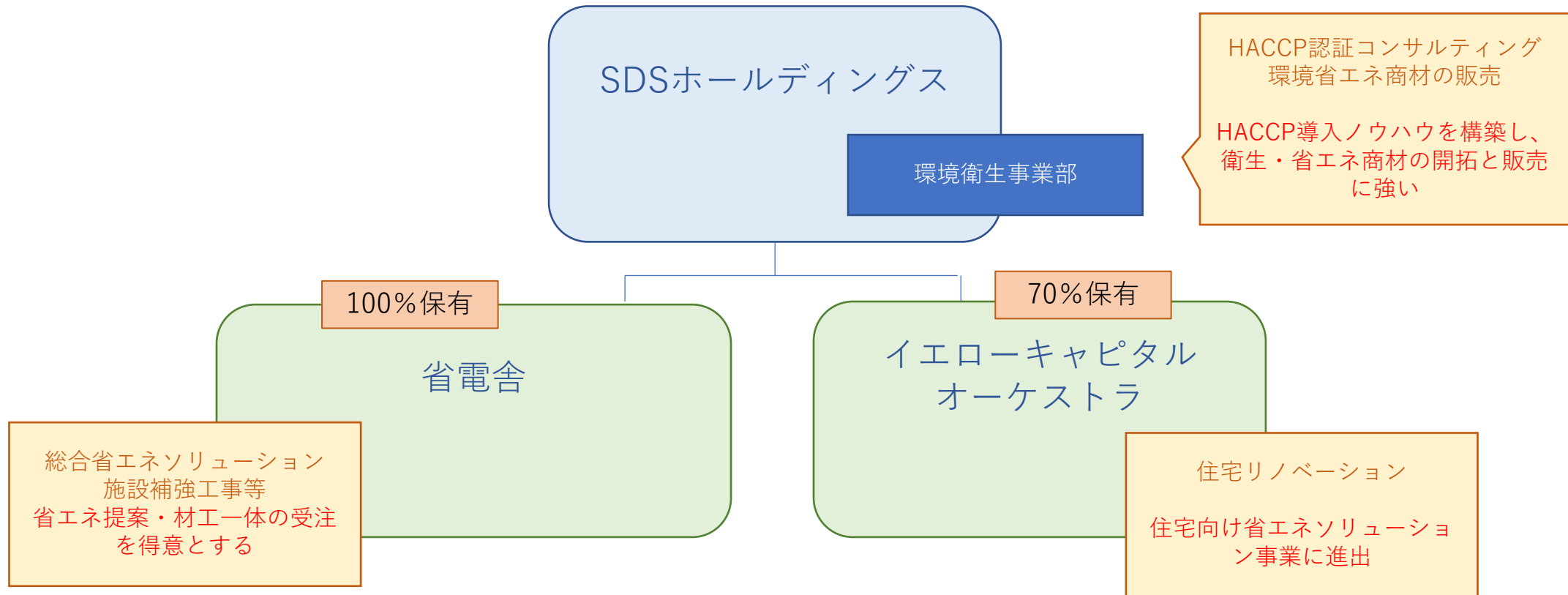
既存事業においても、昨年実行した大規模な第三者割当増資、本年3月に実行した主要子会社での減資・純資産額のプラス回復により、今期、当社の信用回復が進むことは、**より多くの営業パートナー・提携先等を取込む営業活動**を可能にします。

SDGsへの取組活発化による需要増

加えて、不透明な経済環境の中とはいえ、多くの優良企業では、SDGsへの取組が積極化されており、当社へも様々な形で問い合わせが来ております。

このようなビジネスチャンスをつかえ、**2023年3月期の営業黒字を達成する**予定でおります。
新株予約権未行使分（2億円）の調達も含め、引き続き、業容拡大の戦略を進めて参ります。

2023年3月期 グループ構成



2023年3月期連結業績予想

経済活動の再開
SDGs 需要拡大
衛生関連事業の寄与

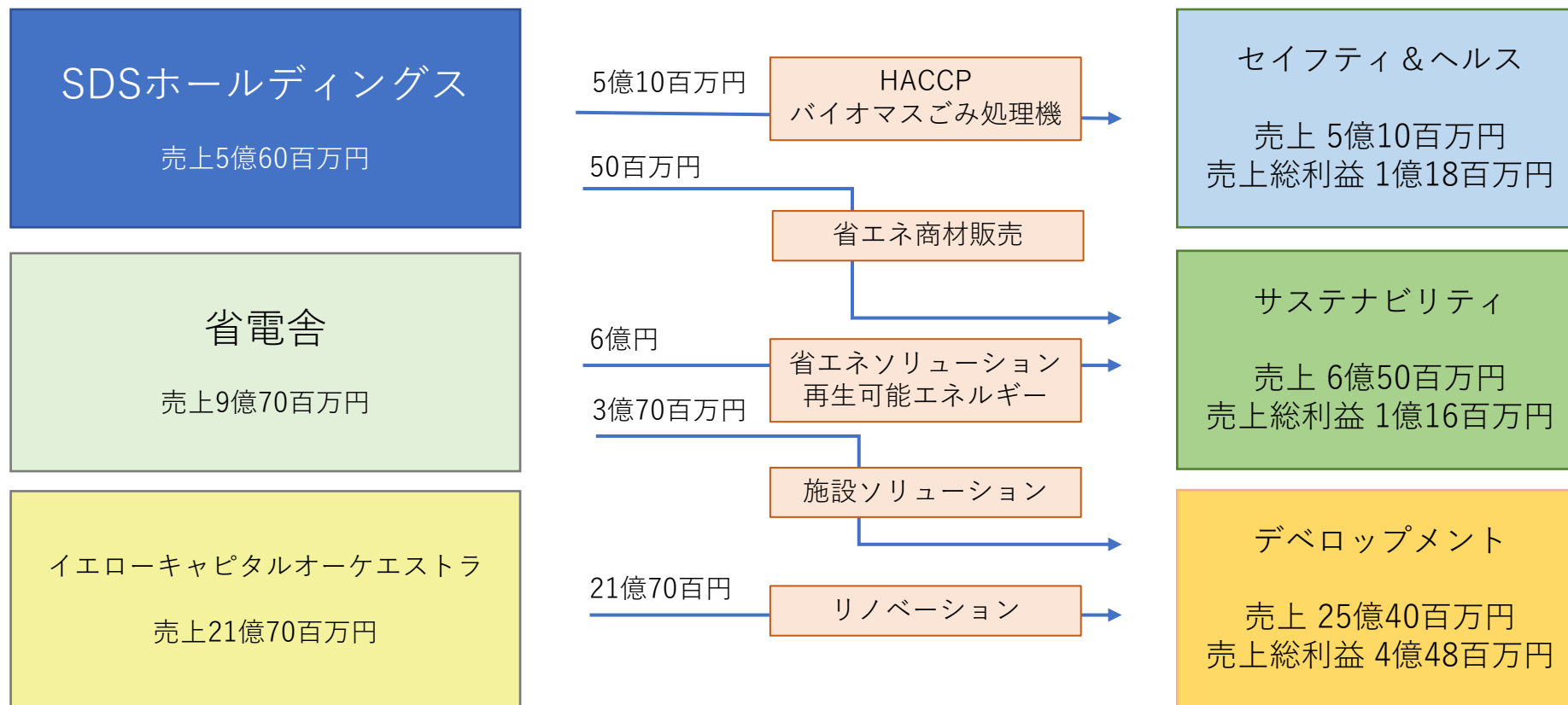
イエロー社寄与
21億70百万円
前期同様程度と想定

2023年3月期連結
業績見通し

	2022/3	売上比	前期比	2023/3 既存事業 ベース	売上比	前期比	新規連結 グループ ベース	売上比	前期比
売上	1,034,970		22.6%	1,530,000		47.8%	3,700,000		257.5%
売上総利益	173,328	16.7%	-5.3%	293,000	19.2%	69.0%	683,000	18.5%	294.1%
販売管理費	434,023	41.9%	-0.4%	393,000	25.7%	-9.5%	669,000	18.1%	54.1%
営業利益	-260,694			-100,000			14,000	0.4%	黒字化
経常利益	-298,344			-105,000			5,000	0.1%	黒字化
親会社に帰属する当期純利益	-333,788			-105,000			-56,000		

M&Aコスト剥落

2023年3月期の会社別売上予想と事業区分



2023年3月期 事業分野別連結業績予想

単位：百万円

事業区分		2023/3 (予)	2022/3
サステナビリティ (省エネ・再生エネ)	売上	650	577
	売上総利益	116	105
デベロップメント (施設S)	売上	370	443
	売上総利益	58	68
S&H (衛生関連)	売上	510	14
	売上総利益	118	0
既存事業合計	売上	1,530	1,034
	売上総利益	293	173



		2023/3 (予)	2022/3
新連結グループ 合計	売上	3,700	1,034
	売上総利益	683	173

事業区分		2023/3 (予)	2022/3
サステナビリティ (省エネ・再生エネ)	売上	650	577
	売上総利益	116	105
デベロップメント (施設S)	売上	2,540	448
	売上総利益	58	68
S&H (衛生関連)	売上	510	14
	売上総利益	118	0

事業区分		2023/3 (予)	
デベロップメント YCO 新規連結	売上	2,170	
	売上総利益	390	

今期の注力事業について

総合省エネルギー・バイオマスごみ処理機など、
今後の成長率が高い分野の事業へ注力

環境産業の分野別成長率予想



出所：2021年3月：環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書：
環境省 環境産業市場規模検討委員会

バイオマスゴミ処理事業

全自動・消滅型生ゴミ処理機 POITO (POITO)は微生物の力を借りて、生ゴミを分解、微細化し、水として排出する「消滅型」の生ゴミ処理機です。ポイトのもっとも大きな特徴は「残渣物ほぼゼロ」ということです。人が食べられるものならPOITOがほとんど分解でき、分解処理はわずか1時間、さらに概ね5～24時間で消滅させることができます。



環境的メリット

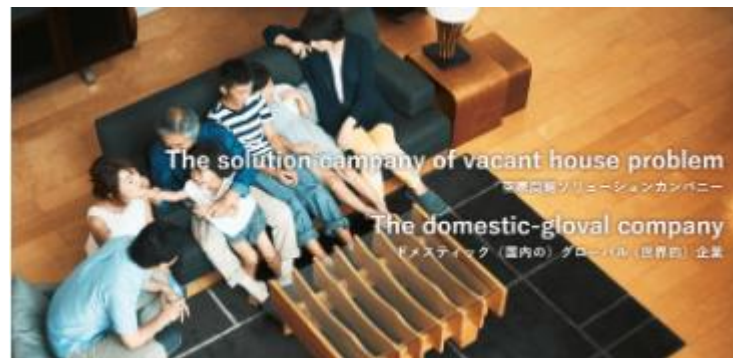
- ・ 運搬業者の収集トラックの稼働削減
- ・ 二酸化炭素排出量の削減
- ・ ゴミ廃棄物に使用されている貴重な土地の確保・有効活用
- ・ 空気汚染の削減
- ・ 土壌汚染の削減
- ・ 排水の生態系への回帰

経済的メリット

- ・ ゴミ収集コストの削減
- ・ 全体的な運営コストの削減
- ・ ゴミ保管・現場内収集に使用される備品コストや労働コストの削減
- ・ 従業員の効率・持続率アップ
- ・ 利益向上

リノベーション事業

イエローキャピタルオーケストラ社は、リノベーションによる住宅販売を事業としており、当社グループが従来からノウハウを持つ、LED、空調設備機器、非常用電源、自家消費型太陽光発電システム等を活用した省エネ、BCP対応のコンセプト住宅の企画、開発、販売を計画しています。イエロー社が行う中古マンション等の不動産販売事業を、より付加価値が高いものとすると同時に当社グループとしては「脱炭素」をコンセプトとした、より収益規模の大きな事業の展開が可能になります。



総合省エネソリューション事業



太陽光

太陽光発電は再生可能エネルギーにおいて最もポピュラーな自然エネルギーの活用方法であり、弊社はその設置場所における最適な発電をご提案し、設計・調達・施工を行い、お客様のニーズに合った設備導入を行います



商業施設工

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります

◆スーパー・食品工場施設施工のご紹介



エコストアご提案

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります



総合省エネルギー改修事業 トータル省エネルギープラン

- 代表的なエネルギー設備
- 蛍光灯・照明設備全般、LED化
- 熱源 (冷凍機、ボイラ etc)
- 空調設備
- 動力設備 (ファン、ポンプ、コンプレッサ etc)
- 生産設備
- 新エネルギー設備
- 環境対策

etc...

◆省エネルギー関連

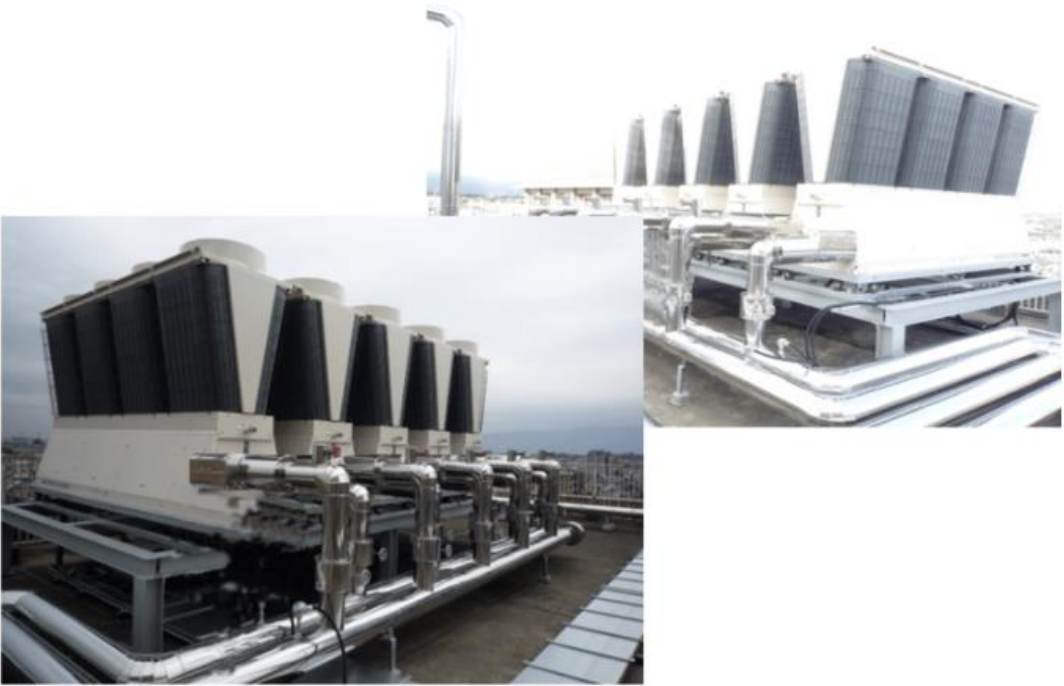
千葉県 スーパーマーケット様

「平成26年度補正予算 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」



【設備内容】 冷蔵設備、空調設備、照明設備
 【助成金内容】 総金額 79,000千円
 補助金額 37,665千円

病院省エネ型空調設備



◆商業施設関連



ケーキ店



事例（スーパーマーケット）



ショッピングセンター
 請負：建築一式工事、ショーケース設備

事例 (物販 ミート&デリ)



ショッピングモール
 請負：デザイン設計・内装工事
 ショーケース工事・厨房機器工事

◆工場施設関連

事例 (セントラルキッチン)



セントラルキッチン
 請負：建築一式工事 (HACCP対応)、厨房工事

長野県 湯田中温泉 ますや

事例 (工場)



製造工場
 請負：設計・監理業務



405号室



406号室



本資料は当社に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は2020年6月22日現在の情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります